

# 會報

二華会  
第50号  
2021.3.1



## ご挨拶

“令和2年度に寄せて”

二華会会長 眞 壁 孝 子

早春の候 皆様におかれましてはお健やかに過ごしのことと存じます。

令和2年を迎えて間もなくから、新型コロナウイルス感染症が起り、二華会の活動を続けてゆくために予定しておりました活動のほとんどが中止せざるを得なくなりました。

そんな中でも大事な二華会活動の中心となる会議、常任幹事会では新型コロナウイルス感染症を防ぐために、手洗い・マスク着用や3密（密接・密集・密閉）にならないよう配慮し、気をつけながら実施いたしました。常任幹事のほとんどの方のご出席をいただき、学校側からは、この4月に着任された伊藤俊校長先生、菅原紀子教頭先生、千葉胤継事務室長様のご出席をいただき、議事は滞りなく承認されました。この会は前年までの会務や会計の報告を受け、承認を得て、今年度の会務・会計予算の計画を承認、活動に移るものです。また各地の12支部におかれましても、

総会は中止せざるを得ない状況でした。只、専門部の中で事業部による「校史パネル展」は学校側のご要望もあり、9月15日～10月10日（例年は4月～5月）に新入生や保護者の方々にもご披露することが出来ました。

令和2年度の二華会総会は残念ながら中止となりましたが来年度（令和3年度）は今年度当番学年の皆様を中心に開催の予定で、総会部の皆様共々張り切っておりました。ところが、コロナ禍が収まらず、むしろ感染者が全国的に増え、当県におきましても増加しております。ワクチン投与は医療関係者を始めとして2月末頃からとの報道がなされており、1月の二華会運営委員会での協議を経て令和3年度も二華会総会は中止となりました。誠に残念ですが望みを捨てず、更にその次の年度には皆様とお会いできることを祈念いたしております。

また、重ねて二華会維持費2千円の年会費納入にご協力をよろしくお願い申し上げます。

皆様どうぞお元気でお過ごしください。



## ごあいさつ

—2050年を支える二華生のために—

校長 伊 藤 俊

### ・はじめに

二華会会報第50号発行おめでとうございます。半世紀にわたり、会員の皆様を紡ぐ会報の歴史の重みと伝統に敬意を表します。

今年度はCOVID-19の影響で、入学式を何とか放送でおこなったものの、その後約2ヶ月間の臨時休校を行い、6月の学校再開後の学校行事も、中止や変更を余儀なくされました。

そんな状況の中で生徒たちは目の前のやるべきことに全力で取り組んでいます。

### ・社会の変化

この10年間で、社会はものすごい速度で変化しています。例えば、窓口で切符を買うことは少なくなり、オンライン上で購入から決済を行い、切符そのものはありません。2015年にオックスフォード大学が「10年後に無くなる可能性のある職業」を発表しました。5年経過し、銀行窓口業務、検針員、集金担当者…など、確かに多くの職業がそのとおりになります。

### ・Society 5.0 に向かって

政府が示した科学技術政策の基本方針で、Society1.0（狩猟社会）Society2.0（農耕社会）Society3.0（工業社会）Society4.0（情報社会）に続く人類史上5番目の新しい社会です。Society5.0の社会では、全ての人と物がつながり、知識や情報が共有されます。

少子高齢化、地方の過疎化の課題が解消されます。AI（人工知能）により情報の分析など面倒な作業から解放されます。ロボットなどの支援で人の可能性が広がるとされています。私たちは今まさに、このような新しい社会に入りつつあるのです。

### ・これから求められる資質と能力

人工知能（AI）やロボットは、莫大なデータを処理したり、過去の知識やデータに基づいて最適な答えを出すことはできません。しかし、思考し、相手の表情や心情を読み取ることはできません。また、様々な意見の異なる人々をコーディネートした「落としどころ」を見つけることもできません。さらに言えば、人格や品位にかかわるような道徳的な見方などは人間にしかできない資質・能力です。

2050年を生きる人間に求められるのは、今まで以上の高度な判断力や、優れたコーディネート力、より高い倫理観とすることができると思います。

### ・二華中高での取り組み

今年の4月からバカロレアが始まり、英語によるディスカッション中心の授業が展開されます。課題研究の授業では、自分で仮説を立て、データを分析し、結論を導き、論文にまとめ発表する能力が求められます。高いオリジナリティと盗作を許さない学問的な誠実性も求められます。このような取り組みの中で、判断力やコーディネート力、倫理観を身に付けることができます。

### ・2050年をめざして

二華の生徒達は校訓「至誠貢献」のとおり、世界のために貢献できる人間になりたいと考えています。彼らは2050年には、人工知能（AI）やロボットを最大限に駆使し、十分な資質と能力を身に付け、世界全体が幸福を享受できる社会の担い手となって活躍しているはずで

# 歳時記 ~今年度の二華会活動~

## 二華のひなまつり

ひいなひいなの会

この一年、新型コロナウイルス感染症拡大で仙台七夕などの伝統行事も開催が中止となり、夏でもマスクを着用が日常となって生活に季節を感じにくくなりました。

ひいなひいなの会ではこれまで二華会館1階オープンスペースに、『二華のひなまつり』には御殿飾りを、『端午の節句』には金太郎人形を飾っていましたが、生徒の皆さんやご来館の方々に少しでも季節を感じていただくよう五節句飾りを展示することにしました。

五節句とは「節」と呼ばれる季節の変わり目にその季節に見合った供物を神に捧げ、邪気を払い無病息災を願う伝統的な年間行事を行う風習です。

邪気を払う五節句飾りが、学校ならびに二華会の皆様にとって新型コロナウイルス感染症予防の一助となり、皆様とまた二華会で共に集える日が一日も早く来ることを願っています。 ひいなひいなの会代表 牧富美子(高24)

## 端午の節句 (5月5日)

男の子の誕生を祝い「尚武」に通じる菖蒲を軒や門に飾り、立身出世を願って鎧兜を飾ったり鯉のぼりをあげます。



金太郎の眼力で悪役も退散!

## 人日の節句 (1月7日)

正月初めの子おの日に野に出て小松を引き抜いて吉凶を占ったり、若菜を摘んで七種の若菜を入れた粥を食べたりして邪気を払います。



宮廷行事の『小松曳』と『五節の舞』の人形で雅な雰囲気

## 七夕の節句 (7月7日)

竹竿に糸をかけて裁縫の上達を星に祈ると叶えられるという中国の乞巧奠の伝説と日本の「棚機たなはたつ女」伝説が一緒になり、江戸時代には笹竹に短冊や飾りを吊す七夕祭りが行なわれるようになりました。



帯と糸車を天の川と牽牛織女に見立て、短冊の元となったという梶の葉を散らせて

## 上巳の節句 (3月3日)

女の子の健やかな成長を願って雛祭りをを行い、雛人形や魔除けの桃の花を飾ったり桃の花びらを浮かべた白酒を飲んだりします。



御殿飾りと桜橘の久寿玉が華やか

## 重陽の節句 (9月9日)

前日の夜、菊の花に綿を被せて夜露と菊の香りを移し、その綿で身体を清め菊酒を飲んで健康と長寿を願います。この日に雛人形を虫干しを兼ねて出して飾る「後の雛」という風習もあります。



菊模様の衣裳をつけた古今雛と菊や紅葉模様の珍しい雛道具で『後の雛』の飾り付け

## 校史パネル展 (9月15日~10月9日)

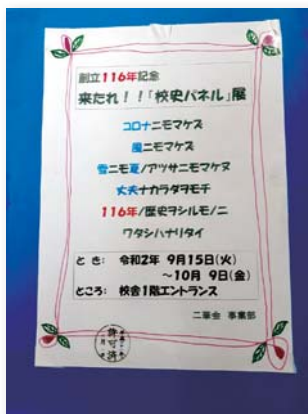
事業部

創立116年目を迎えた今年度は、新型コロナウイルス感染症防止の為に、学校側と相談し、開催時期を4月から9月に変更致しました。

これまで、多くの保護者や卒業生の皆様にも見て頂いていましたが、在校生向けだけの展示になることから、初の試みとして、エレベーター内等の校内の目につく場所に、ポスターを掲示することに致しました。

在校生と教職員の方々に、感想ノートに自由に記述していただいていますので、前年度も含め、その一部を抜粋し紹介致します。

- パネルの中に、私のクラスの同級生が写っています。17才だったキラキラした夏を思い出しました。一枚一枚が、明日へつながっているように、一言一言を大切につむいでいけたらと思います。
  - 富田鉄之助をはじめ、多くの先人達の思いが、今日の二華に引き継がれています。
  - 机は、小さいなあ。
- 三密対策等の感染予防をしながらの開催でしたが、中止せずに行えたことを心から嬉しく思っています。



事業部部长 小野多喜子 (高20)

## 二華会館に感謝!

事業部

### 大掃除がんばりました

12月4日(金)今年最後の活動は、コロナ禍の救世主、自称「アマビエ女」で疫病退散を願い、二華会館大掃除を行いました。

